



これからペットを飼う方へ



ペットを飼うことは、その一生に責任をもつことです。
ペットを飼う前に、ほんとうに飼い続けられるか、家族みんなで話し合ひましょう。

思いがけず、動物の存在が逆にストレスや
近所とのトラブルに発展したり、アレルギー症状など、
さまざまな病気の原因になる事例も報告されています。
飼い始めたその日から、ペットの命は飼い主にゆだねられます。
「飼わない」「今は飼えない」と判断することも愛情です。

ペットは私たち人間と同じように命ある存在です。
毎日食べ、排出し、運動し、その世話は休みなく続きます。
「かわいい」という一時の感情だけではペットは飼育できません。
命を預かり責任をもって最期まで飼育することができるかどうか
今一度、命を預かる責任の重さを考えてから飼育を始めましょう。

そして、飼うことを決めたら、どこから手に入れるかよく考えましょう。
方法としては、ペットショップやブリーダーから購入するほか、
動物保護施設で、飼えなくなったり飼い主不明で保護された
ペットを譲渡してもらえることもあります。

動物を販売するためには、動物取扱業の登録が必要です。
購入する場合は、登録している業者であることを確認しましょう。



飼い主の責務(動物の愛護及び管理に関する法律第7条より)

- ① 健康と安全を保持し、他人への迷惑を防ぐ
- ② 動物の病気について正しい知識を持ち、予防に努める
- ③ 逃げ出したり、迷子にさせない対策をとる(逸走防止)
- ④ その命を終えるまで適切に飼う(終生飼養)
- ⑤ 増えすぎて管理ができなくなるよう繁殖の制限を行う
- ⑥ 自分の飼っている動物とわかるよう所有明示をする

